取扱説明書
3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルム

日射調整防犯シリーズ

【適用範囲】
本書は以下の３M™スコッチティント ™ウインドウフィルムに適用します。
・NANO80CP

【施工】
施工手順・方法は一般的な３M™スコッチティント ™ウインドウフィルムに準じます。
詳細は見本帳及びマニュアルなどの専用資料（※）をご参照ください。本製品に特有の注意事項は【注意事項】を参照してください。
※『ガラス用フィルム工事の施工マニュアル』（日本ウインドウフィルム工業会発行）
『３M™スコッチティント ™ウインドウフィルム及び３M™ファサラ ™ガラスシェード施工手引書』
（住友スリーエム㈱ コンストラクションマーケット技術部発行）

【注意事項】
基本的な注意事項は３M™スコッチティント ™ウインドウフィルムに準じます。

■本製品に特有の注意事項　(NANO80S との相違点)
・本製品の防犯性能を発揮するためには専門技術者による充分な水抜き作業を含む当社指定の施工方法に従った施工が必要です。
・本製品は厚く、たわみ難いためラミネーターなどを利用した乾式貼付（ドライ貼り）は難しいので、手作業による湿式貼付（水貼り）を推奨します。
・本製品は厚く、施工現場や貼付時の切断が困難なので、仕上がり不良とならないよう予め仕上がり寸法に裁断してください。
・本製品は厚く、施工液の水抜けが遅いので、フィルムに充分圧力をかけることができる高硬度のプラスチックスキージーで２度圧着を行い、確実に水分を押し出してください。ただし、プラスチックスキージーはフィルムの表面を傷つけやすいので、ペーパータオルを巻いたり、剥離フィルムを敷いたりしてスキージーが直接フィルム表面と接触することのないようにしてください。
・本製品は厚いので、施工液の乾燥に時間がかかります。施工液の乾燥時間は冬期以外では約１カ月、冬期では約２カ月かかります。

■一般的な注意事項
・施工したガラスのフィルム表面にコーキング等の目的でマスキングテープのような粘着テープを貼り付ける際には、以下の点に注意してください。
①粘着テープの弱粘着タイプのものを使用してください。
②フィルム表面に長時間貼付しないでください。
③粘着テープを剥がす際はテープをフィルム外側に向かって出来るだけ 180° に近い角度でゆっくり剥がしてください。

■製品選定に関する注意事項
・熱割れについて
貼付するガラスと施工環境によってはガラスが熱割れを起こすことがありますので、熱割れ計算で熱割れの可能性を確認してください。
・ガラス以外の基材への貼付について
基本的にプラスチック基材などガラス以外の基材への貼付はお勧めしません。プラスチック基材は表面から気体が発生してフィルムの膨れや剥がれが生じることがあります。プラスチック基材へ貼付する場合は一旦プラスチック用下地調整フィルム SH2CL-P（※）を貼付し、その上から本製品を重ねて貼付することができます。この他に SH2FGIM-P、SH2EMOS-P の２製品はプラスチック基材に直接使用できます。

※製品の詳細および取扱い方法については専用資料をご参照ください。

■使用環境（施工場所）に関する注意事項

・耐候性について
本製品は屋内使用なので耐候性がありません。屋外では使用しないでください。

・耐水性について
頻繁に水分と接触する場所（※１）での使用はお勧めしません。
一時的に結露が発生する場所では耐水プライマー（※２）を使用して貼付施工してください。
結露などによりフィルムの端部から水が浸入する可能性がある場所ではエッジシーラー（※３）を使用してください。
※１：水中、温泉、サウナ、温水プールなど
※２：３M社製プライマー　ＸＢ－５８７３
※３：３M社製エッジシーラー　＃８６００

・耐熱性について
一時的に８０℃になる環境では問題はありませんが、常時８０℃になる環境では使用できません。
密閉空間など熱がこもりやすい場所への施工はお勧めしません。
６５℃以下の環境で使用してください。

■貼付施工に関する注意事項

・貼付推奨温度：　１０℃～３０℃
・フィルムを小径に巻くと剥離フィルムから剥離（ポップオフ）することがあります。
・剥離フィルムから部分的に剥離（ポップオフ）したまま放置した後にフィルムを貼付すると、剥離した部分に痕が残ることがあります。フィルムがポップオフしたら直ちに貼付すれば剥離痕は通常残りません。
・フィルムの重ね貼りはできません。
・施工時の水分が施工完了後もしばらくガラスとフィルムの間にわずかに残り、小さな水泡が残ったりフィルム面が曇って見えたりする現象（水残り現象）が発生しますが、通常フィルムが正しく施工された場合は水分の蒸発とともに消滅します。但し、日影や気温が低い場合にはある程度日数を要することがあります。水抜けを促進するためには室内温度を上げるか、強制的に送風するなどすると短時間で水が乾燥します。
・フィルム表面にマスキングテープ（※）などを貼りつけて数時間放置した後に剥すと、条件によっては製品表面のハードコート層が剥離、脱落することがあるので注意してください。
※低粘着のマスキングテープを使用してください。

■使用上の注意事項

・フィルム表面に硬いものが接触すると表面に傷がつくことがありますのでご注意ください。
・フィルム表面にステッカーやシールを貼ったりマジックなどで書いたりしないでください。

【輸送・保管】

・ 高温、高湿と直射日光を避け、0～38℃の暗所に保管し、購入後１年以内にご使用ください。
※短時間であれば、厳しい条件でも使用可能ですが、変色､やけ等の外観変化や性能劣化が早まりますのでご注意ください。
・ 使用後のフィルムロールは、フィルムのゆるみがなくなるようにしっかり巻き締めて、端をテープで止めてフィルムがほぐれてこないようにしてください。
※フィルムの巻き方がゆるいままで保管すると、剥離フィルムとフィルムの間に空気が入り、外観不具合が起きる原因になりますのでご注意ください。
・ フィルムロールは専用のポリ袋に包み、開封前と同様の状態で保管ください。
※湿気を防止することにより、製品劣化を抑制します。
・ フィルムロールはロールの両端にキャップを取り付け､必ず宙づりの状態で専用の梱包箱へ入れて保管してください。
※1 つの梱包箱には複数本ではなく、1 本のフィルムロールを収納ください。宙づりの状態でない場合、表面の傷やしわ等、外観不具合の原因となる可能性があります。
・ フィルムロールよりカット済みのシート状フィルムは、その都度、使い切るようにしてください。
※シート状では上記推奨の保管方法が難しいため､外観不具合や性能劣化の原因となる可能性があり

ますのでご理解ください。

【清掃／メンテナンス】

フィルム表面に汚れを付着させたままにするとフィルムの劣化が早くなります。また、汚れによって光透過率など光学特性が変り遮熱性能が低下したり熱割れを起こしたりする可能性があります。フィルムの性能を維持するために定期的に清掃を行なってください。清掃／メンテナンス方法の詳細についてはカタログをご参照ください。

■清掃時の注意点

１）ゴムスキージやぬらした柔らかい布で軽く水洗いしてください（乾拭きは厳禁です）。
２）ブラシや研磨剤などは使用しないでください。
３）付着した塗料やコーキング材などは除去してください。

【廃棄】

本製品の主素材はポリエステル系樹脂です。自治体の法令／指示に従って廃棄処分してください。

製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り当社は責任を負いません。
3Mは、3M社の商標です。

住友スリーエム株式会社
コンストラクションマーケット事業部

http://www.mmm.co.jp/cmd/scotchtint
http://www.mmm.co.jp/cmd/fasara

© 3M 2013. All rights reserved

IB-CMDSR07-02
2013/05/13